

# 学生チャレンジプロジェクトSDGs活動報告書



## プロジェクト名

No.24「2025 Ene-1 SUZUKA Challenge ,  
2025 Ene-1 MOTEGI GP KV-40への挑戦」

プロジェクトのターゲット目標(17項目)を  
○で囲んでください。

No.01	No.02	No.03	○No.04	No.05
No.06	○No.07	No.08	○No.09	No.10
No.11	○No.12	○No.13	No.14	No.15
No.16	○No.17			

### 活動報告

#### 4.4 「働く技能を備えた若者と成人の割合を増やす」

車両製作を通じて、バッテリーカーの構造や、エネルギー効率を高めるための回路設計、カウル製作における薬品の取り扱い方法など様々な技術をメンバー全員で学ぶことができた。

#### 7.2 「エネルギー効率の改善率を増やす」

大会を通じて、充電式単三型電池でサーキットコースを走れる分の動力を出せることを理解することで、資源の節約への関心を高めることができた。

#### 9.4 「資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大により持続可能性を向上させる」

一般的なガソリン車とは異なるエネルギー源で車両を走らせることで、クリーンエネルギー技術についての理解を深め、資源利用効率の向上や持続可能な産業の推進に貢献できた。

#### 12.2 「天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する」

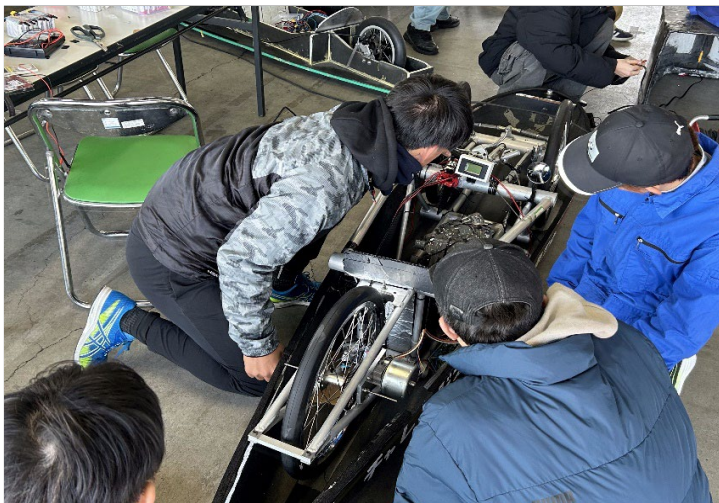
限られたエネルギーを効率よく使うために必要な車両製作やトルクの計算を通じて、エネルギー効率の最適化の重要性と難しさを学ぶことができた。

#### 13.2 「気候変動対策を政策、戦略及び計画に盛り込む」

温室効果ガスを出さないバッテリーカーの技術を、大会を通じて様々な人に認知させることができた。

#### 17.6 「科学技術イノベーションに関する国際協力を向上させ、知識共有を進める」

本プロジェクトは学部1年生から大学院生まで様々な学生が作業状況や知識、技術を共有し、活動を通じて交流しながら取り組んだ。その過程で、立場の異なる人同士で連携・結束して課題に取り組むことの重要性を実感した。



### 団体紹介

単三形電池40本をエネルギー源として走行する車両を用いた次世代エネルギー競技「Ene-1」  
初開催から10年以上たつこの大会に参戦し、上位入賞を狙うプロジェクトである。